

第46回

中央区政 世論調査

概要版

平成28年5月実施

CHUO CITY

【調査の項目】

- | | |
|---------|---------------------------------|
| 1 定住性 | 7 男女共同参画社会 |
| 2 防災対策 | 8 防犯対策 |
| 3 健康診査 | 9 公共施設 |
| 4 高齢者施策 | 10 スポーツ |
| 5 子育て支援 | 11 東京2020オリンピック・
パラリンピック競技大会 |
| 6 広報・広聴 | 12 施策の要望・評価 |

【調査対象】中央区に居住する満18歳以上の男女個人
(外国人区民を除く)

【対象者】2,000人

【抽出方法】無作為抽出法
平成28年4月1日現在の住民基本台帳に
登録された満18歳以上の男女119,718人より
一定の割合で系統的に抽出

【調査方法】郵送法(郵送に準じた配布・郵送回収)

【調査時期】平成28年5月6日(金)～5月23日(月)

【調査機関】株式会社エスピー研

【回収結果】回収数 1,036 回収率 51.8%

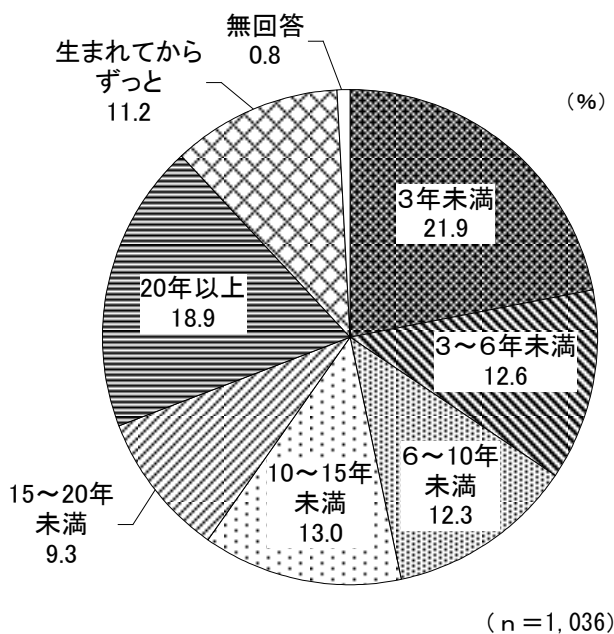


1 定住性

■ 居住年数

『短期居住者』（「3年未満」と「3～6年未満」の合計）は 34.5%で3割台半ばとなっている。『中期居住者』（「6～10年未満」と「10～15年未満」、「15～20年未満」の3つの合計）は 34.6%で3割台半ば、『長期居住者』（「20年以上」と「生まれてからずっと」の合計）は 30.1%で3割となっている。

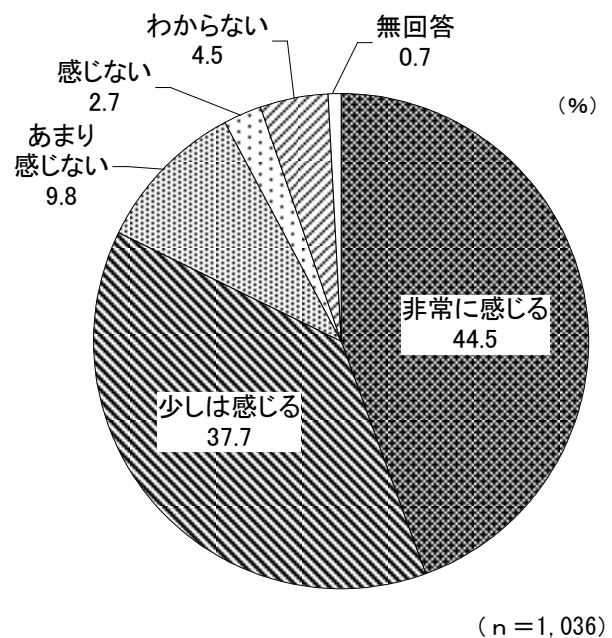
昨年の調査結果と比較すると、『中期居住者』は 1.3 ポイント減少し、『長期居住者』は 1.7 ポイント増加している。



■ 愛着心

『感じる』（「非常に感じる」と「少しは感じる」の合計）は 82.2%で8割を超えている。一方、『感じない』（「あまり感じない」と「感じない」の合計）は 12.5%にとどまっている。

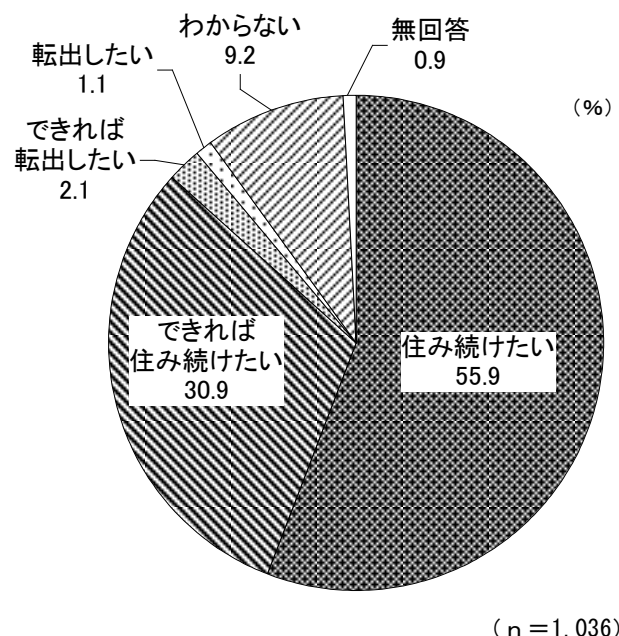
過去の調査結果と比較すると、『感じる』は平成 18 年以降8割以上で推移している。



■ 定住意向

『定住意向』（「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」の合計）は 86.8%で9割近くとなっている。一方、『転出意向』（「できれば転出したい」と「転出したい」の合計）は 3.2%にとどまっている。

過去の調査結果と比較すると、『定住意向』は平成 25 年以降ほぼ同じ割合で推移している。

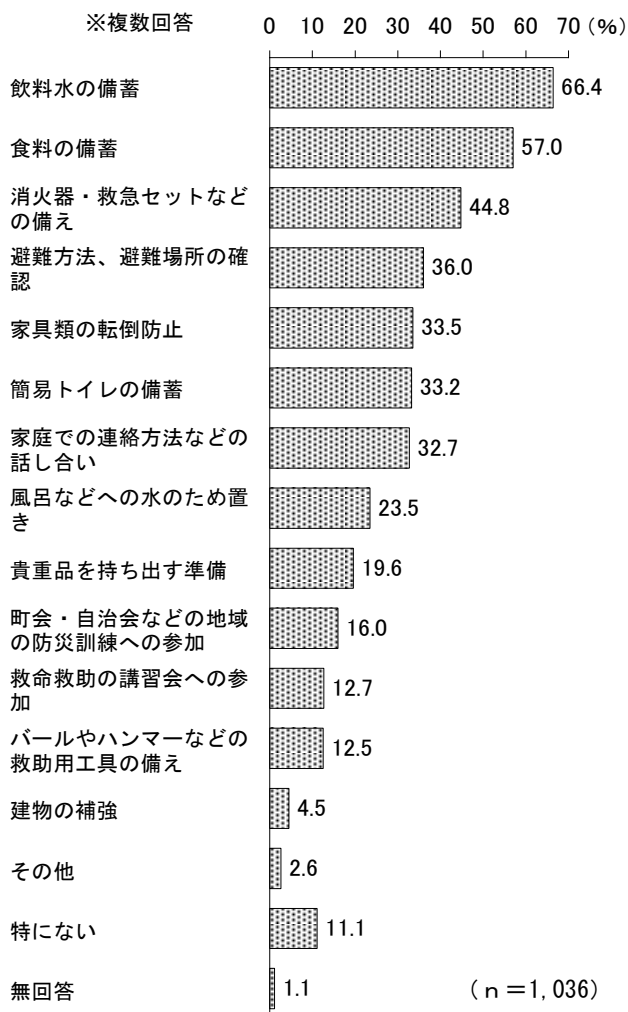


2 防災対策

■家庭での災害に対する備え

「飲料水の備蓄」(66.4%)が6割台半ばで最も高くなっている。次いで、「食料の備蓄」(57.0%)、「消火器・救急セットなどの備え」(44.8%)、「避難方法、避難場所の確認」(36.0%)、「家具類の転倒防止」(33.5%)などとなっている。

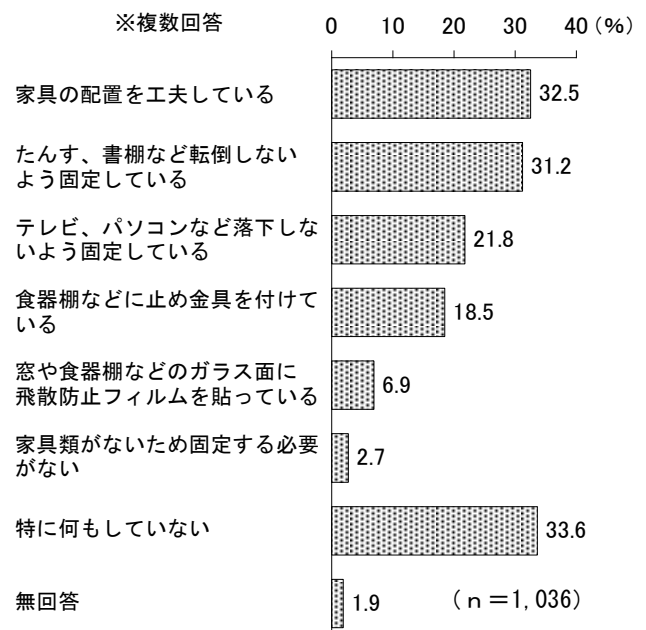
昨年の調査結果と比較すると、「風呂などへの水のため置き」は3.1ポイント増加している。一方、「貴重品を持ち出す準備」は4.2ポイント、「特にない」は3.3ポイント、それぞれ減少している。



■家具の転倒、ガラスの飛散などに対する備え

「家具の配置を工夫している」(32.5%)と「たんす、書棚など転倒しないよう固定している」(31.2%)がともに3割を超えている。次いで、「テレビ、パソコンなど落下しないよう固定している」(21.8%)、「食器棚などに止め金具を付けている」(18.5%)などとなっている。また、「特に何もしていない」(33.6%)は3割を超えている。

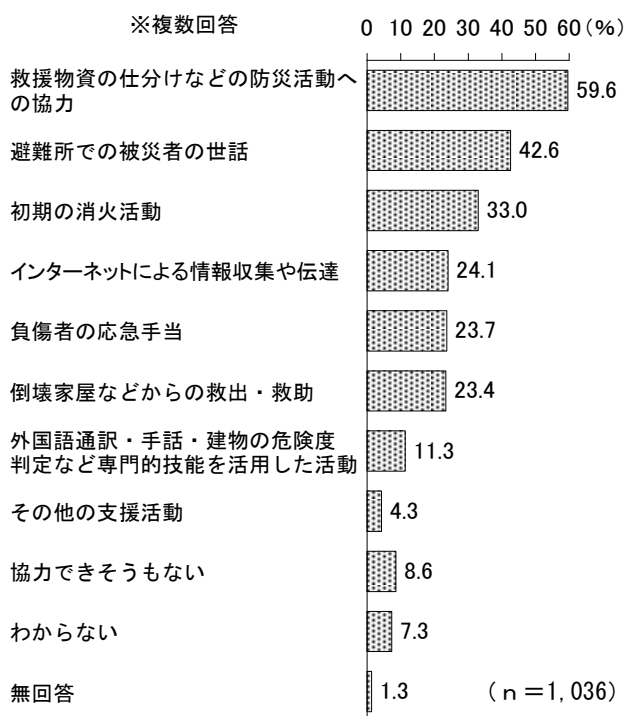
昨年の調査結果と比較すると、大きな傾向の変化はみられない。



■災害時に協力できる活動

「救援物資の仕分けなどの防災活動への協力」(59.6%)が6割で最も高くなっている。次いで、「避難所での被災者の世話」(42.6%)、「初期の消火活動」(33.0%)、「インターネットによる情報収集や伝達」(24.1%)、「負傷者の応急手当」(23.7%)、「倒壊家屋などからの救出・救助」(23.4%)などとなっている。

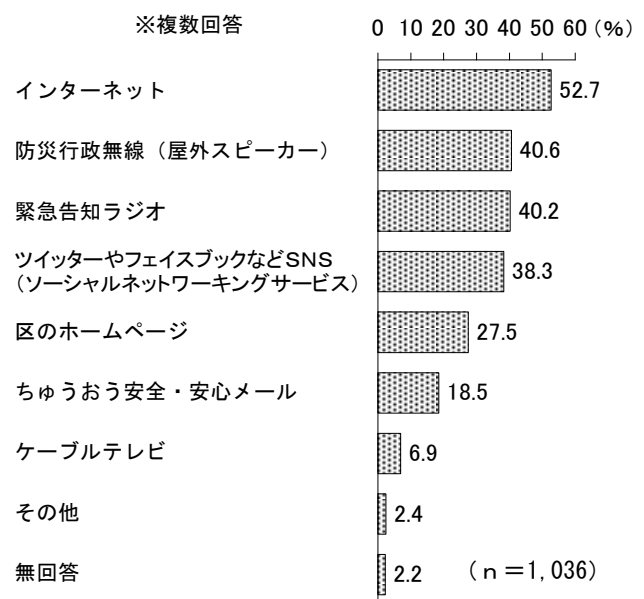
昨年の調査結果と比較すると、「救援物資の仕分けなどの防災活動への協力」は4.0ポイント増加している。一方、「避難所での被災者の世話」は3.9ポイント減少している。



■災害情報を得る手段として有効だと思うもの

「インターネット」(52.7%)が5割を超えて最も高くなっている。次いで、「防災行政無線(屋外スピーカー)」(40.6%)、「緊急告知ラジオ」(40.2%)、「ツイッターやフェイスブックなどSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)」(38.3%)、「区のホームページ」(27.5%)などとなっている。

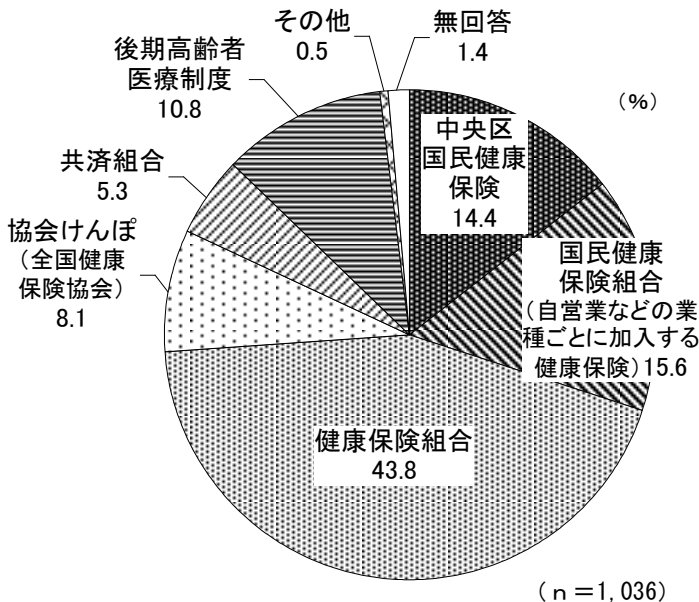
昨年の調査結果と比較すると、「ツイッターやフェイスブックなどSNS」は6.7ポイント増加している。



3 健康診査

■ 加入している健康保険

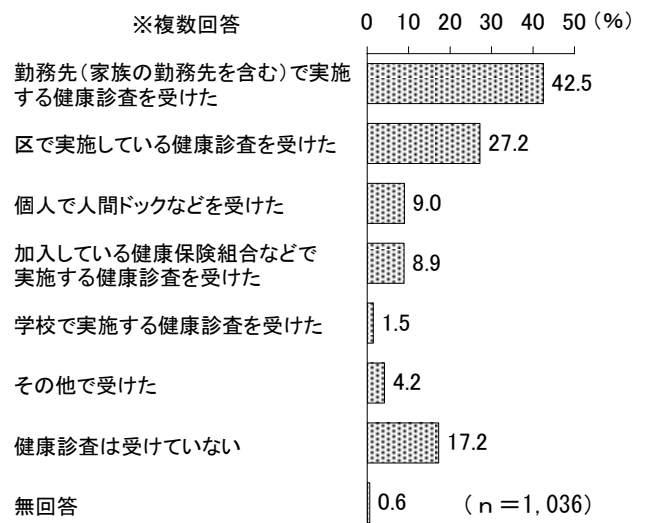
「健康保険組合」(43.8%)が4割を超えて最も高くなっている。次いで、「国民健康保険組合(自営業などの業種ごとに加入する健康保険)」(15.6%)、「中央区国民健康保険」(14.4%)、「後期高齢者医療制度」(10.8%)、「協会けんぽ(全国健康保険協会)」(8.1%)などとなっている。



■ 健康診査の受診状況

「勤務先(家族の勤務先を含む)で実施する健康診査を受けた」(42.5%)が4割を超えて最も高くなっている。次いで、「区で実施している健康診査を受けた」(27.2%)、「個人で人間ドックなどを受けた」(9.0%)、「加入している健康保険組合などで実施する健康診査を受けた」(8.9%)などとなっている。一方、「健康診査は受けていない」(17.2%)は2割近くとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、大きな傾向の変化はみられない。

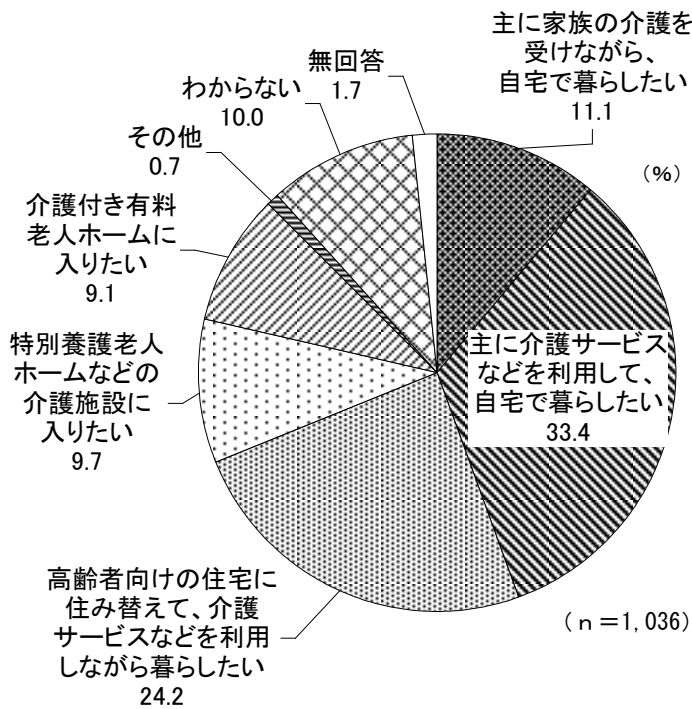


4 高齢者施策

■要介護時における暮らし方

「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」(33.4%)が3割を超えて最も高くなっている。次いで、「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」(24.2%)、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」(11.1%)などとなっている。

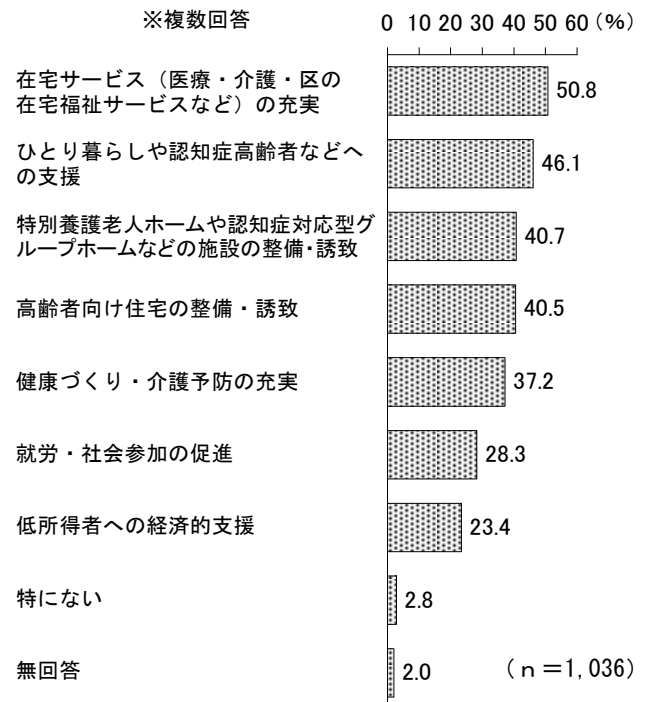
過去の調査結果と比較すると、「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」は平成23年以降2割台で推移している。また、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」は、平成17年以降最も低い割合となっている。



■区に望む高齢者保健福祉サービス

「在宅サービス(医療・介護・区の在宅福祉サービスなど)の充実」(50.8%)が約5割で最も高くなっている。次いで、「ひとり暮らしや認知症高齢者などへの支援」(46.1%)、「特別養護老人ホームや認知症対応型グループホームなどの施設の整備・誘致」(40.7%)、「高齢者向け住宅の整備・誘致」(40.5%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、大きな傾向の変化はみられない。

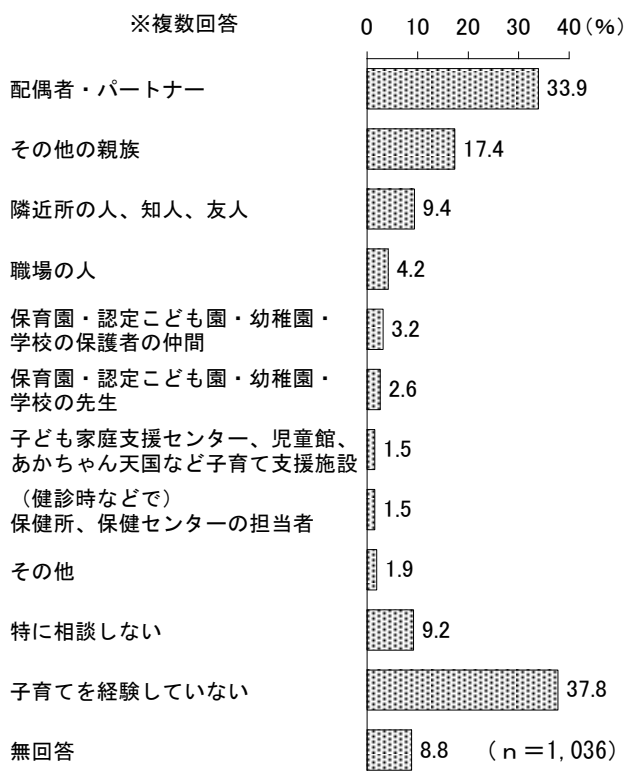


5 子育て支援

■ 子育てに関する悩みの相談

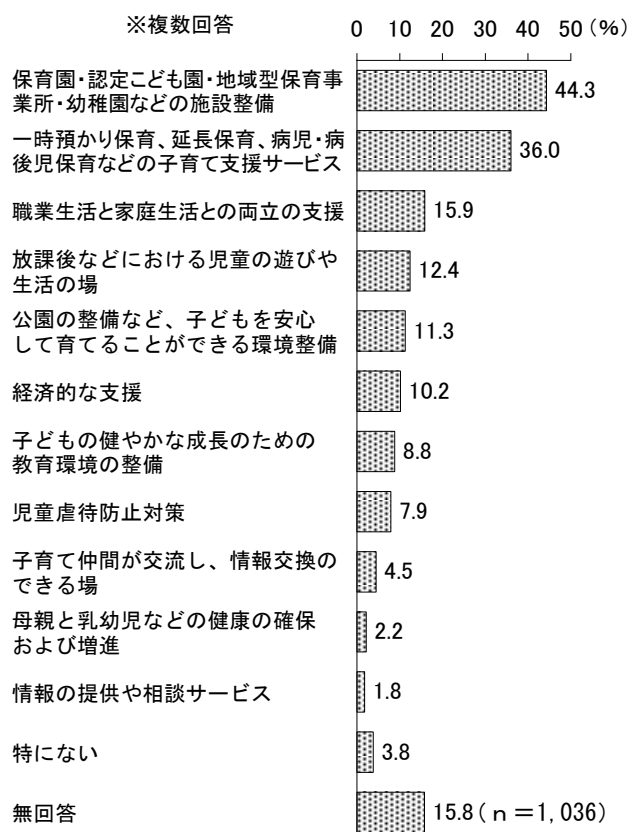
「配偶者・パートナー」(33.9%)が3割を超えて最も高くなっている。次いで、「その他の親族」(17.4%)、「隣近所の人、知人、友人」(9.4%)、「職場の人」(4.2%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「保育園・認定こども園・幼稚園・学校の保護者の仲間」は2.5ポイント減少している。



■ 重要と考える子育て支援策

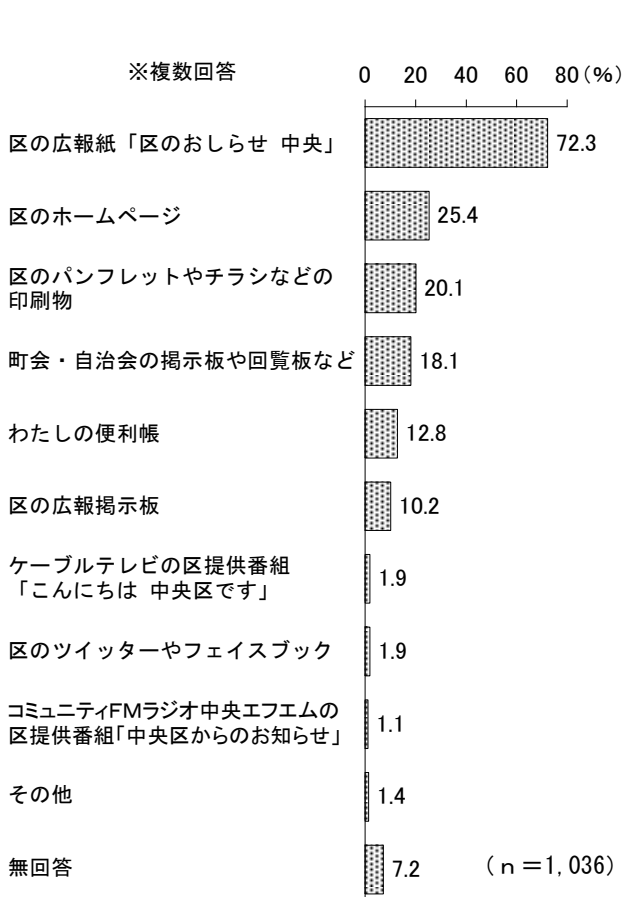
「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備」(44.3%)が4割台半ばで最も高くなっている。次いで、「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」(36.0%)、「職業生活と家庭生活との両立の支援」(15.9%)、「放課後などにおける児童の遊びや生活の場」(12.4%)、「公園の整備など、子どもを安心して育てることができる環境整備」(11.3%)などとなっている。



6 広報・広聴

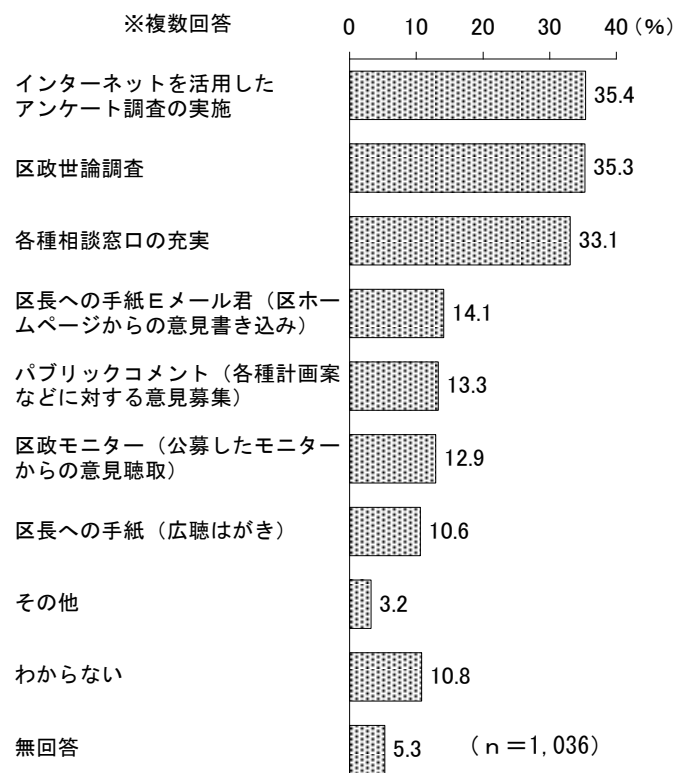
■ 区政情報を得る方法

「区の広報紙『区のおしらせ 中央』」(72.3%)が7割を超えて最も高くなっている。次いで、「区のホームページ」(25.4%)、「区のパンフレットやチラシなどの印刷物」(20.1%)、「町会・自治会の掲示板や回覧板など」(18.1%)などとなっている。



■ 効果的な広聴の取り組み

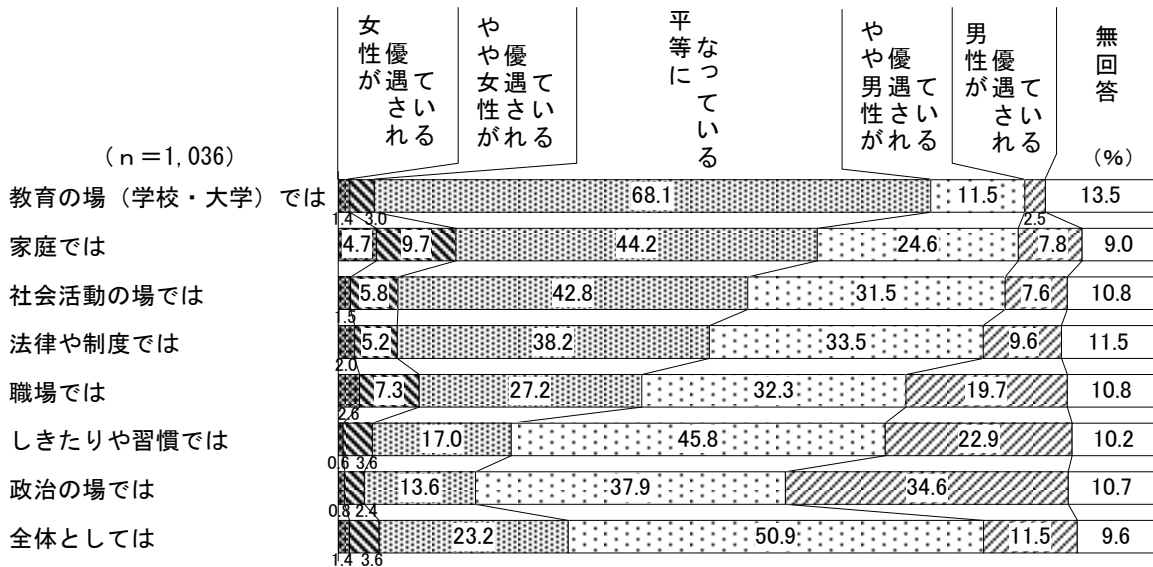
「インターネットを活用したアンケート調査の実施」(35.4%)と「区政世論調査」(35.3%)がともに3割台半ばで高くなっている。次いで、「各種相談窓口の充実」(33.1%)、「区長への手紙Eメール君(区ホームページからの意見書き込み)」(14.1%)、「パブリックコメント(各種計画案などに対する意見募集)」(13.3%)、「区政モニター(公募したモニターからの意見聴取)」(12.9%)などとなっている。



7 男女共同参画社会

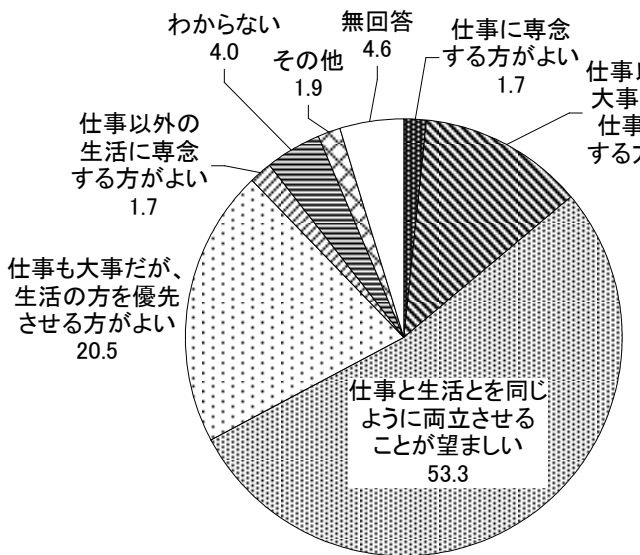
男女の地位の平等感

「平等になっている」と感じるのは、“教育の場（学校・大学）では”（68.1%）で7割近くと最も高く、次いで“家庭では”（44.2%）で4割台半ば、“社会活動の場では”（42.8%）で4割を超えている。『男性が優遇されている』（「やや男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」の合計）とを感じるのは、“政治の場では”（72.5%）で7割を超えて最も高くなっている。



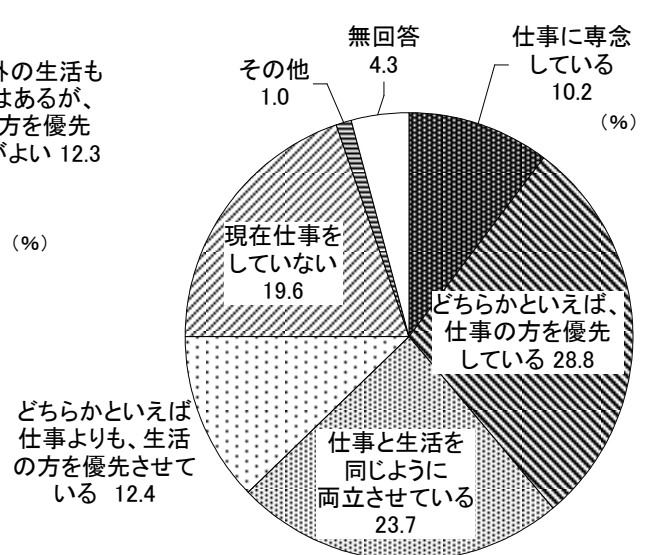
ワーク・ライフ・バランスについての考え方

「仕事と生活とを同じように両立させることが望ましい」（53.3%）が5割を超えて最も高くなっている。次いで、「仕事も大事だが、生活の方を優先させる方がよい」（20.5%）、「仕事以外の生活も大事ではあるが、仕事の方を優先する方がよい」（12.3%）などとなっている。



望ましい位置づけに対しての現在の状況

「どちらかといえば、仕事の方を優先している」（28.8%）が3割近くで最も高くなっている。次いで、「仕事と生活を同じように両立させている」（23.7%）、「現在仕事をしていない」（19.6%）、「どちらかといえば仕事よりも、生活の方を優先させている」（12.4%）、「仕事に専念している」（10.2%）などとなっている。

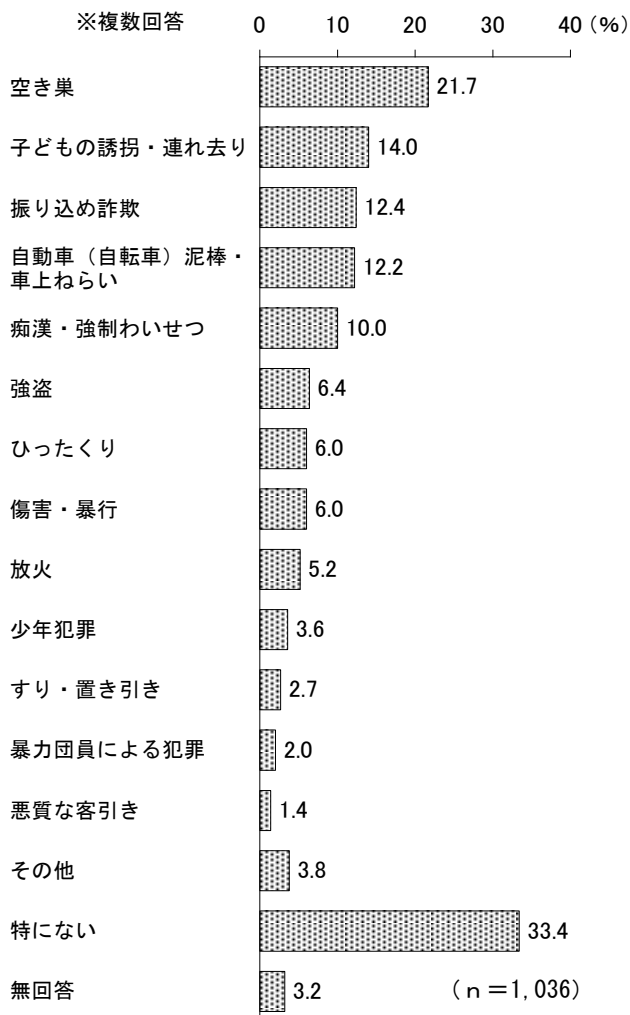


8 防犯対策

■ 不安に感じる犯罪

「空き巣」(21.7%)が2割を超えて高くなっている。次いで、「子どもの誘拐・連れ去り」(14.0%)、「振り込め詐欺」(12.4%)、「自動車(自転車)泥棒・車上ねらい」(12.2%)、「痴漢・強制わいせつ」(10.0%)などとなっている。一方、「特にない」(33.4%)は3割を超えている。

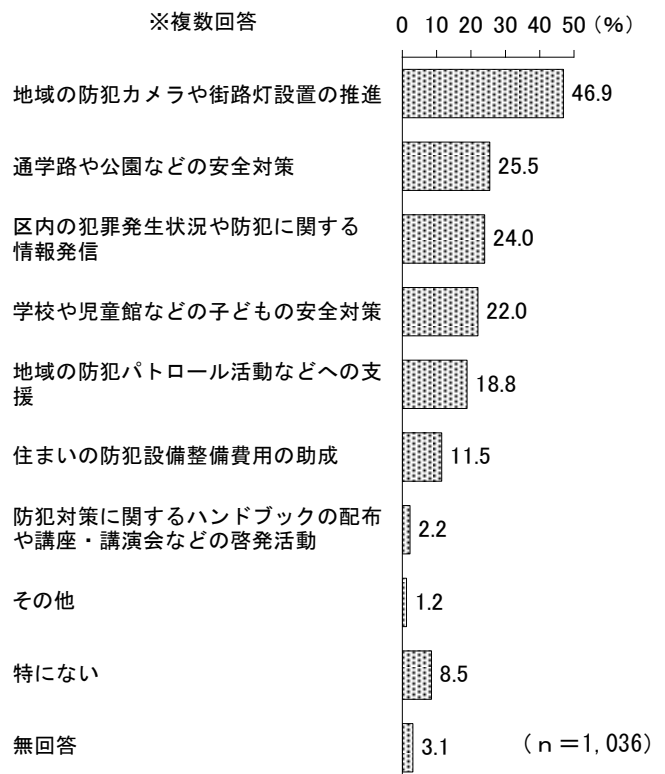
昨年の調査結果と比較すると、「空き巣」は4.7ポイント減少している。一方、「特にない」は3.7ポイント増加している。



■ 区に特に力を入れてほしい施策

「地域の防犯カメラや街路灯設置の推進」(46.9%)が5割近くで最も高くなっている。次いで、「通学路や公園などの安全対策」(25.5%)、「区内の犯罪発生状況や防犯に関する情報発信」(24.0%)、「学校や児童館などの子どもの安全対策」(22.0%)、「地域の防犯パトロール活動などへの支援」(18.8%)などとなっている。

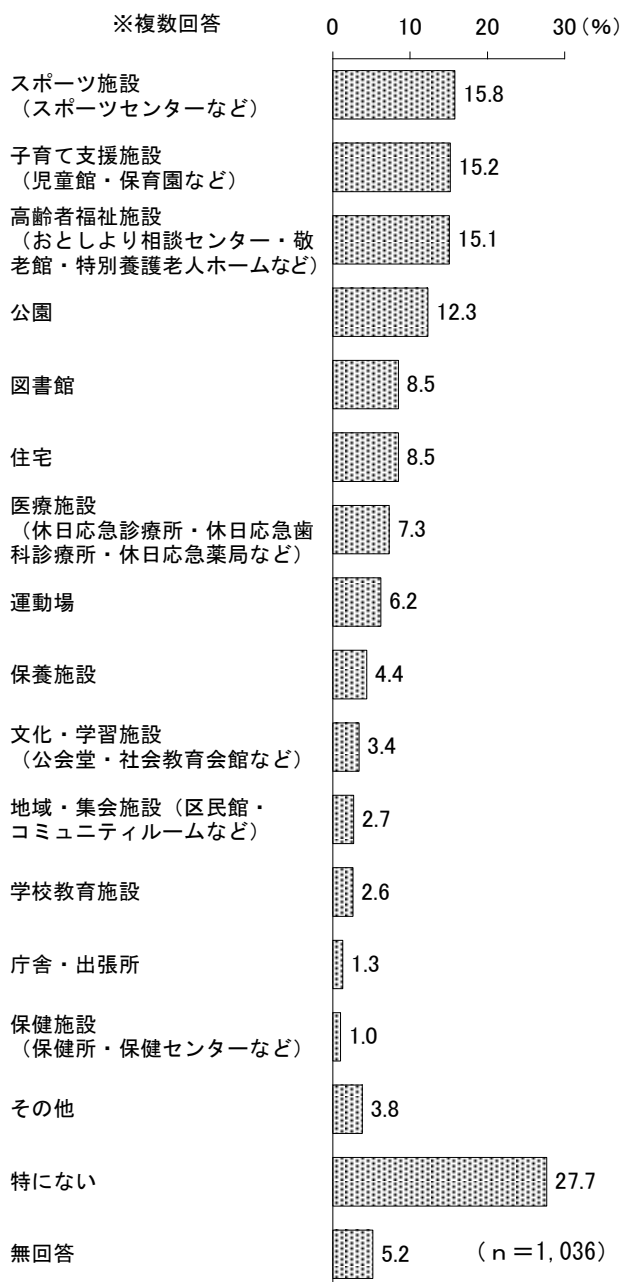
昨年の調査結果と比較すると、「通学路や公園などの安全対策」は4.6ポイント、「地域の防犯カメラや街路灯設置の推進」は3.7ポイント、「地域の防犯パトロール活動などへの支援」は3.3ポイント、それぞれ減少している。



9 公共施設

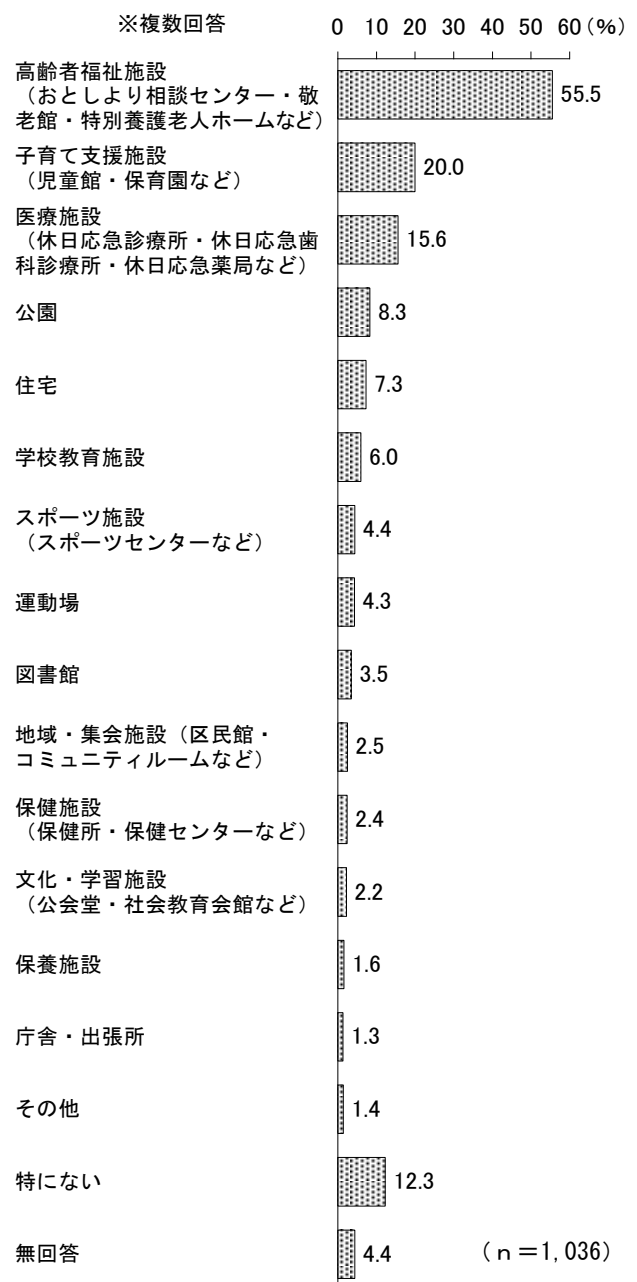
■現在不足していると思う公共施設

「特にない」(27.7%)が3割近くで最も高くなっている。次いで、「スポーツ施設(スポーツセンターなど)」(15.8%)、「子育て支援施設(児童館・保育園など)」(15.2%)、「高齢者福祉施設(おとしより相談センター・敬老館・特別養護老人ホームなど)」(15.1%)、「公園」(12.3%)、「図書館」(8.5%)、「住宅」(8.5%)などとなっている。



■将来不足と思う公共施設

「高齢者福祉施設(おとしより相談センター・敬老館・特別養護老人ホームなど)」(55.5%)が5割台半ばで最も高くなっている。次いで、「子育て支援施設(児童館・保育園など)」(20.0%)、「医療施設(休日応急診療所・休日応急歯科診療所・休日応急薬局など)」(15.6%)、「公園」(8.3%)、「住宅」(7.3%)などとなっている。

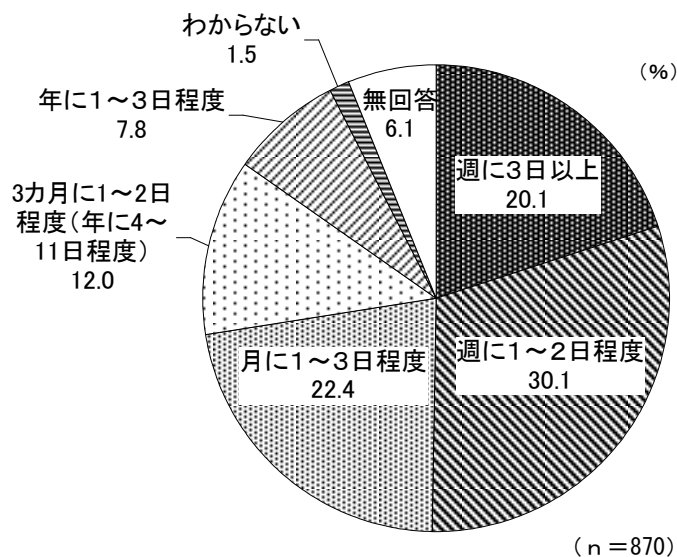


10 スポーツ

■過去1年間に行ったスポーツや運動の頻度

「週に1～2日程度」(30.1%)が3割で最も高くなっている。次いで、「月に1～3日程度」(22.4%)、「週に3日以上」(20.1%)、「3カ月に1～2日程度(年に4～11日程度)」(12.0%)などとなっている。

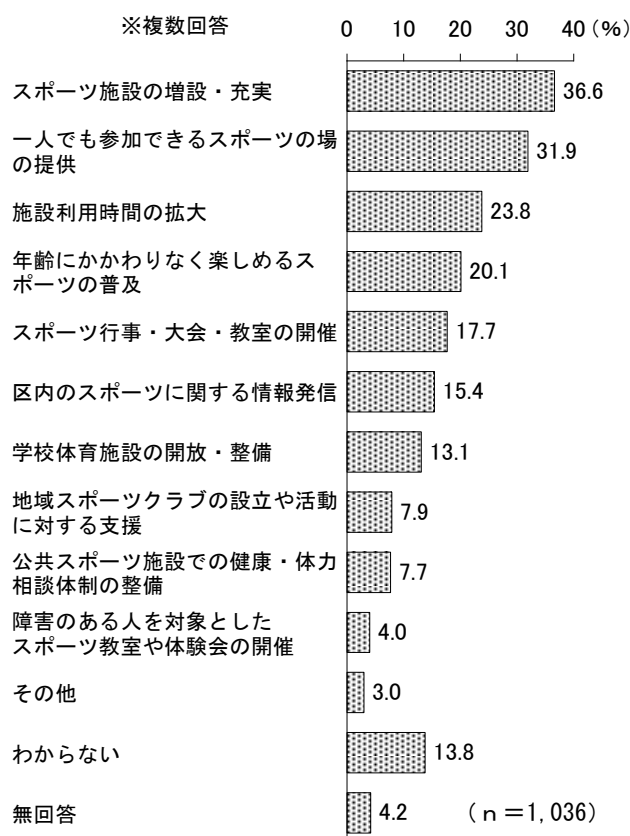
昨年の調査結果と比較すると、「週に1～2日程度」は6.7ポイント減少している。



■スポーツへの参加機会を増やすために区に望むこと

「スポーツ施設の増設・充実」(36.6%)が4割近くで最も高くなっている。次いで、「一人でも参加できるスポーツの場の提供」(31.9%)、「施設利用時間の拡大」(23.8%)、「年齢にかかわらず楽しめるスポーツの普及」(20.1%)、「スポーツ行事・大会・教室の開催」(17.7%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「スポーツ施設の増設・充実」は7.8ポイント減少している。一方、「スポーツ行事・大会・教室の開催」は5.3ポイント増加している。

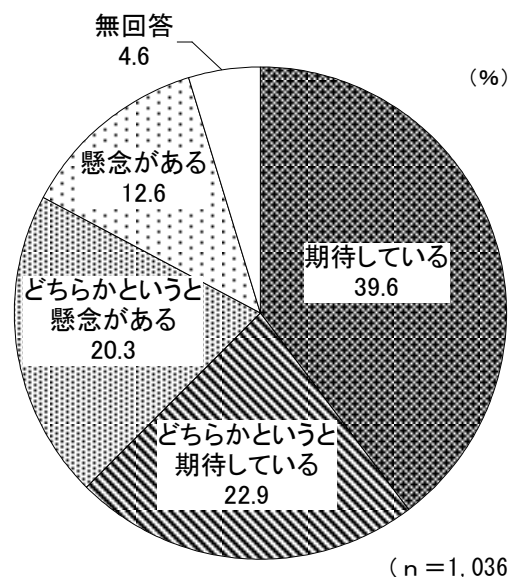


11 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会

■大会への思い

『大会への期待』（「期待している」と「どちらかという期待している」の合計）は 62.5% で 6 割を超えている。一方、『大会への懸念』（「どちらかという懸念がある」と「懸念がある」の合計）は 32.9% で 3 割を超えている。

昨年の調査結果と比較すると、『大会への期待』は 12.4 ポイント減少している。一方、『大会への懸念』は 10.8 ポイント増加している。



■大会の開催に伴い期待していること

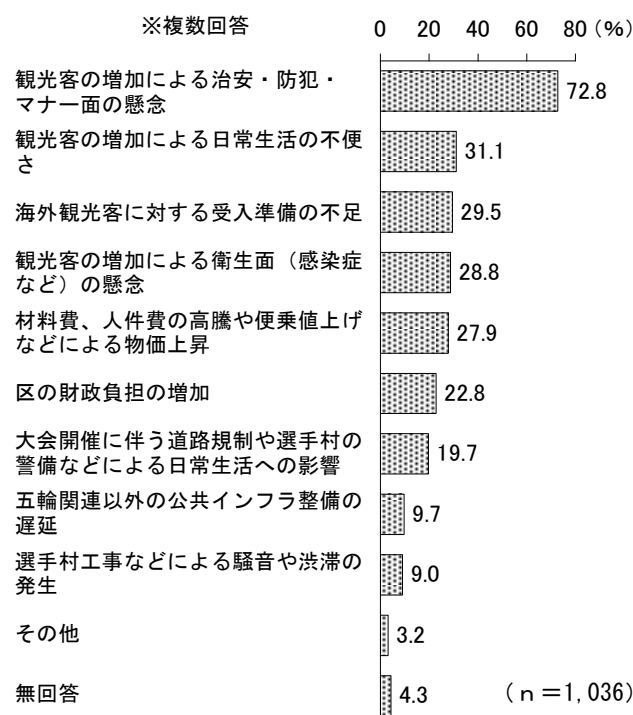
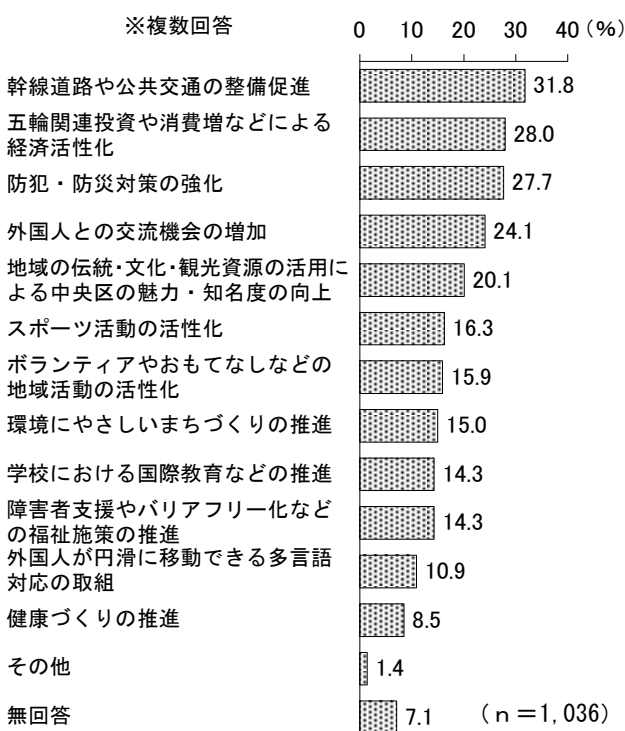
「幹線道路や公共交通の整備促進（道路の整備・拡幅、基幹的交通システムの導入など）」（31.8%）が 3 割を超えて最も高くなっている。次いで、「五輪関連投資や消費増などによる経済活性化」（28.0%）、「防犯・防災対策の強化」（27.7%）、「外国人との交流機会の増加」（24.1%）などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「学校における国際教育などの推進」は 3.8 ポイント減少している。

■大会の開催に伴い懸念していること

「観光客の増加による治安・防犯・マナー面の懸念」（72.8%）が 7 割を超えて最も高くなっている。次いで、「観光客の増加による日常生活の不便さ（交通混雑、買物不便など）」（31.1%）などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「海外観光客に対する受入準備の不足（外国語や異文化への対応の不足など）」は 5.2 ポイント増加している。一方、「材料費、人件費の高騰や便乗値上げなどによる物価上昇」は 4.3 ポイント減少している。

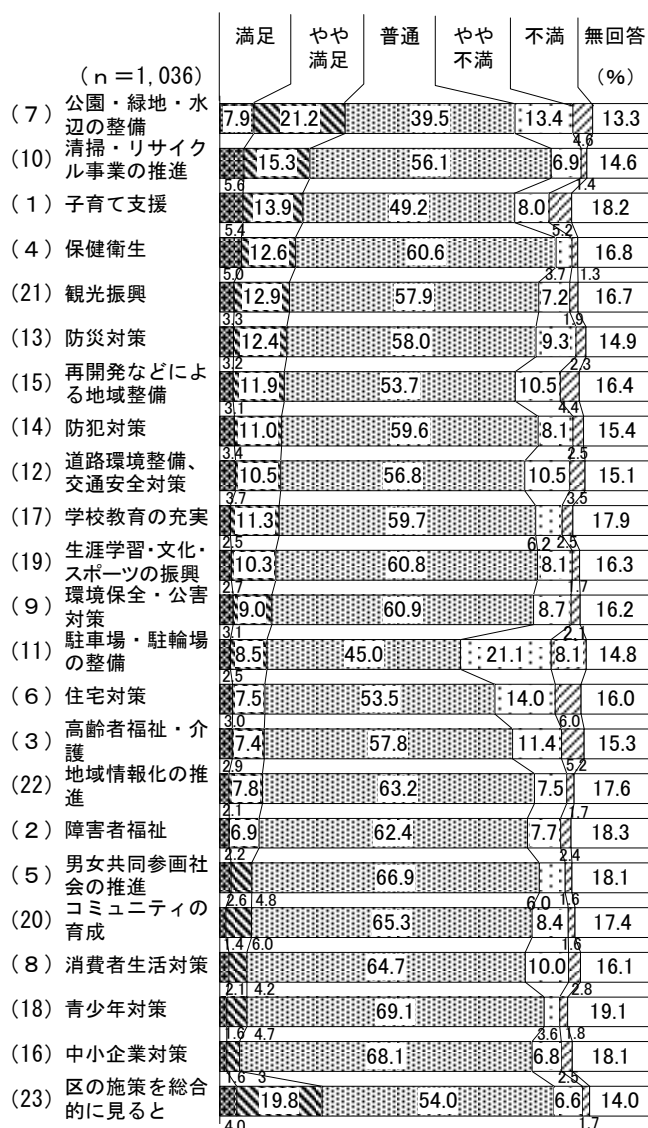


12 施策の要望・評価

■ 区の施策の満足度

「満足」と「やや満足」の合計を『満足』とし、「やや不満」と「不満」の合計を『不満足』とした場合の、それぞれの上位5項目は次のようになっている。

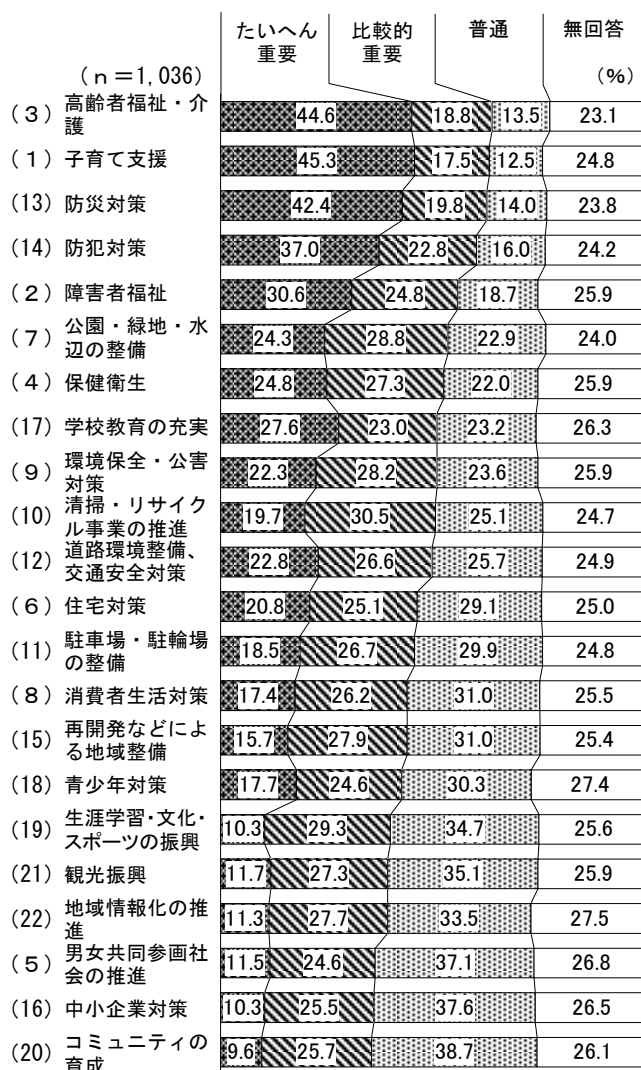
- 『満足』 ①公園・緑地・水辺の整備 (29.1%)
 ②清掃・リサイクル事業の推進 (20.9%)
 ③子育て支援 (19.3%)
 ④保健衛生 (17.6%)
 ⑤観光振興 (16.2%)
- 『不満足』 ①駐車場・駐輪場の整備 (29.2%)
 ②住宅対策 (20.0%)
 ③公園・緑地・水辺の整備 (18.0%)
 ④高齢者福祉・介護 (16.6%)
 ⑤再開発などによる地域整備 (14.9%)



■ 区の施策の重要度

「たいへん重要」と「比較的重要」の合計を『重要』とした場合の、上位5項目と下位5項目は次のようになっている。

- 上位 ①高齢者福祉・介護 (63.4%)
 ②子育て支援 (62.8%)
 ③防災対策 (62.2%)
 ④防犯対策 (59.8%)
 ⑤障害者福祉 (55.4%)
- 下位 ①コミュニティの育成 (35.3%)
 ②中小企業対策 (35.8%)
 ③男女共同参画社会の推進 (36.1%)
 ④観光振興 (39.0%)
 ④地域情報化の推進 (39.0%)



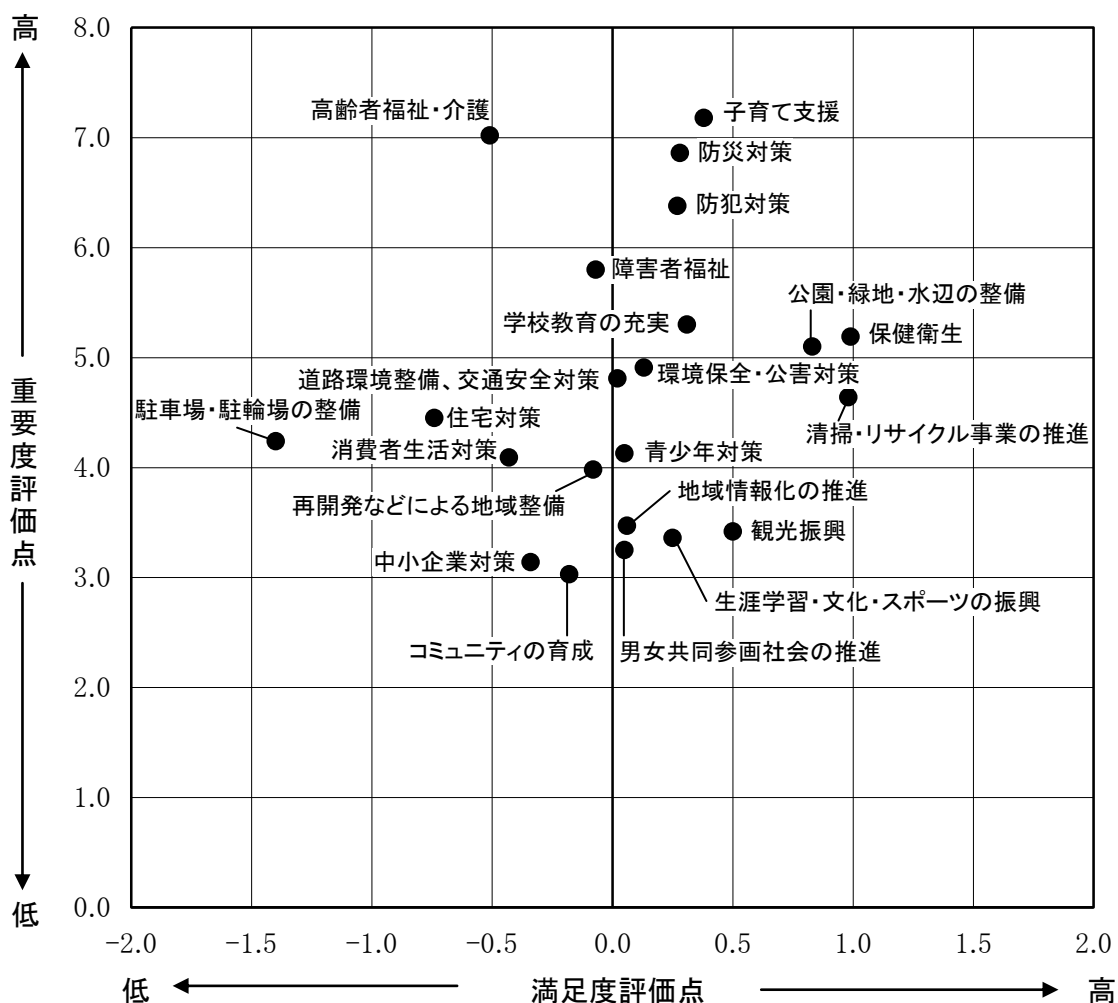
■ 区の施策の満足度と重要度の相関

次の図表は、加重平均値による満足度評価と重要度評価を相関させた散布図である。横軸が満足度評価点、縦軸が重要度評価点になっている。それぞれの算出方法は以下の通りである。

$$\begin{aligned} \text{満足度評価点} &= (\text{「満足」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「やや満足」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「普通」の回答者数} \\ &\quad \times 0 \text{点} + \text{「やや不満」の回答者数} \times \blacktriangle 5 \text{点} + \text{「不満」の回答者数} \times \blacktriangle 10 \text{点}) \\ &\quad \div (\text{回答者数} - \text{無回答者数}) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{重要度評価点} &= (\text{「たいへん重要」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「比較的重要」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「普通」の} \\ &\quad \text{回答者数} \times 0 \text{点}) \div (\text{回答者数} - \text{無回答者数}) \end{aligned}$$

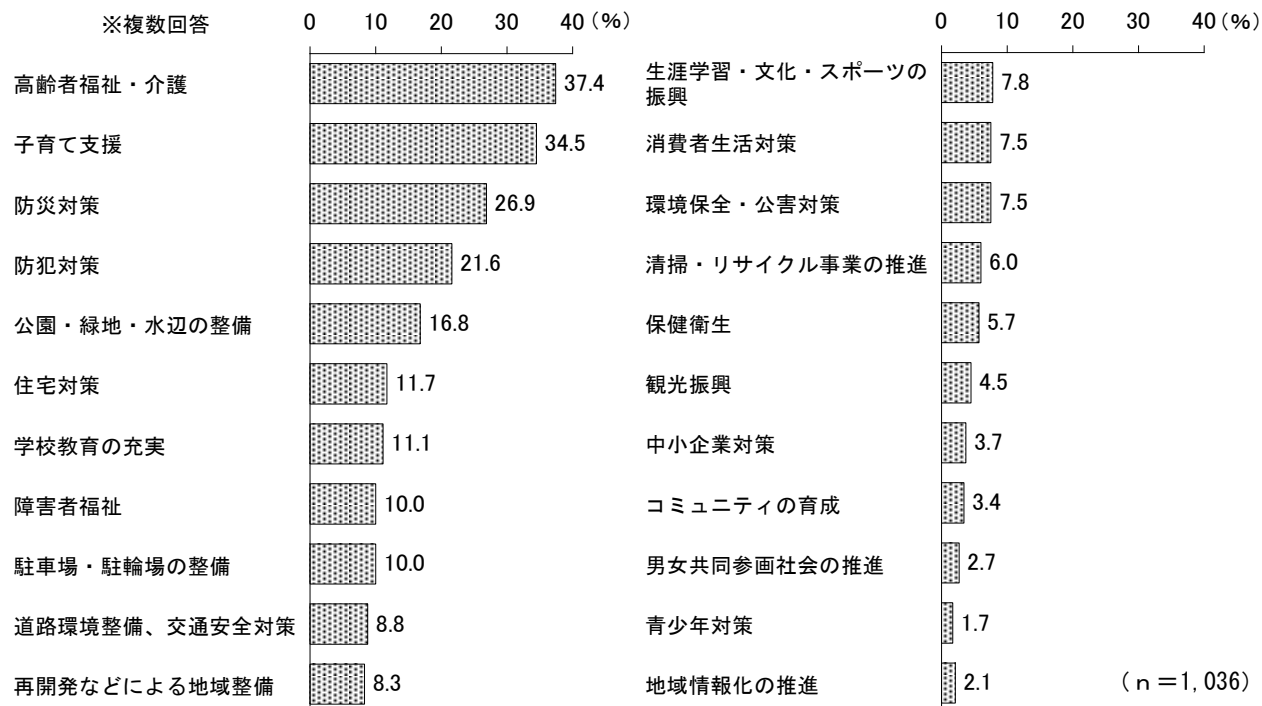
このグラフでは、満足度評価が低く、重要度評価が高い領域（左上方）にある項目が比較的住民ニーズが高いもので、今後の行政課題となるものと考えられる。



■ 区の施策への要望

「高齢者福祉・介護」（37.4%）が4割近くで最も高く、次いで、「子育て支援」（34.5%）、「防災対策」（26.9%）などが続いている。

昨年の調査結果と比較すると、「学校教育の充実」は4.2ポイント減少している。一方、「高齢者福祉・介護」と「防災対策」はともに2.7ポイント増加している。



第46回 中央区政世論調査

平成28年9月

発行 中央区企画部広報課
中央区築地1丁目1番1号
03(3546)5222(直通)

実施 株式会社エスピー研
千代田区飯田橋3丁目11番20号
03(3239)0071

刊行物登録番号
28-044